



パタゴニア社パブリック・エンゲージメント副社長
リック・リッジウェイが語る

「持続可能な地球環境、 持続可能なビジネス」

日時 / 2017年9月14日(木)
19:00～20:30(開場 18:30)

会場 / 東京 原宿 ダイヤモンド社本社
9F セミナールーム

会費 / 無料

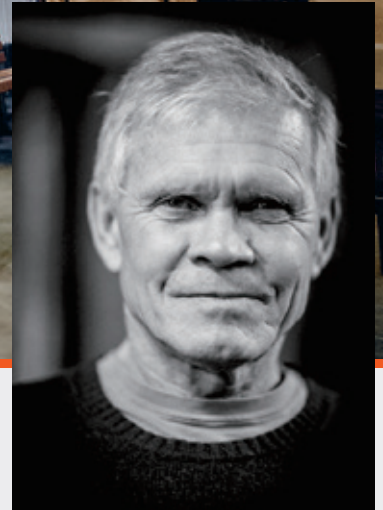
〈参加条件〉書籍「新版 社員をサーフィンに行かせよう」のご持参(電子版も可)
※会場でもご購入いただけます

主催 / ダイヤモンド社

共催 / パタゴニア日本支社

協力 / 早稲田大学商学大学院商学部 谷本研究室

「パタゴニアは普通の会社であるからこそ、我々ができることは他社にもできると思うのです」
アウトドアのウェアやギアのブランドとして知られるパタゴニア。その半世紀以上にわたる歴史の中で、企業として一貫して、地球環境に対する責任について考え、試行錯誤を続けてきた。時代の先を行くその活動は、米国のみならず世界から注目を集めている。このたび、パタゴニア米国本社より、パブリック・エンゲージメント副社長、リック・リッジウェイ氏が来日。早稲田大学商学大学院商学部 谷本寛治教授のファシリテーションにより、パタゴニアのこれまでの歩みやユニークな試みについて語る。



講演者：
リック・リッジウェイ

パタゴニア
パブリック・エンゲージメント副社長

パタゴニアの核となる価値観を世界中の利害関係者に広めるパタゴニアの鍵となる広報担当者のひとり。パタゴニアでの12年のキャリアにおいて社内の環境および持続可能性イニシアチブを開発。世界一流の登山家として、3人の仲間とともに世界最難の高山とみなされるK2を登頂した初のアメリカ人でもある。



ファシリテーター：
谷本寛治 (たにもと・かんじ)

早稲田大学商学大学院商学部教授

企業システム論 / 「企業と社会」論を研究テーマとする。学会《企業と社会フォーラム》を立ち上げ、会長を務める。今は週に一度テニスを楽しむ。ベルリン自由大学にて、客員教授として「企業と社会」の授業を行なっている。